



森の都・くまもと

夏目漱石が「森の都」と名づけた熊本市は、空からみると街並みをぬって樹木の緑が美しい。白いビルがテラホラ眺められるのもこの頃のユニークな姿だ。晴れた日には遠くに阿蘇の連山が浮び上がる。

西海岸は無論のこと、ニューヨークやワシントンなどの東海岸にも沢山見かけて、大変愉快に心強く思った。

更にロンドンの洋服屋に行ってみるとちやんと日本娘がいて、日本語で応待してくれる。私の様に英語のしやべれる者でも、この日本娘の顔をたてる為に一着でも買わざるを得なくなる。オランダのアムステルダム、ダイヤモンド工場にも、ちやんと日本娘がいる。スイスのチューリッヒの時計屋にもいる。西ベルリン然り、ローマ然り、皆、大体二十才前後の年齢で、学生でアルバイトにこの店で働いていますという。

この娘達が、英仏独伊等の各語でバリバリしゃべって大いに日本意気を挙げてくれていることは誠に頼母しく、然も独りで堂々と活躍しているのを見ると本当に「偉い」と思わざるを得ない。然しその反面、チヨッピリ不安無きにも非ずである。(私の世界的視野の狭さかくる不安かも知れぬが……)それは英仏独伊などには、夫々日本にはいないような悪質な女たらしがいないとは限らないのでそんな者に、ひっからぬように……との私の老婆心は絶対不必要なものだろうか。

これも所謂「世界は一つ」の例か

西ドイツのホテルで四十才位の女従業員が我々の室にやって来て、朝の掃除をやりだした。同室の青森県の或る市長が(いつでも一室に二人つづ泊る)言葉は判らぬが、手帳眼様で何か話して

成人の日 を迎えた 人びとへ

☆☆☆

日本国民は、20才になると法律の上でも成人として一人前の扱いをうけ、選挙権もあたえられ、名実ともに社会人として出発することになります。

だが、いまひとつの忘れなければならないことは国民年金の加入者となることです。国民年金は、20才から60才までの日本国民で厚生年金や共済組合などに加入してない人たちが必ず加入しなければならぬ年金制度だからなのです。

国民年金への加入手続きは簡単ですから、市町村役場へすすんで届出下さい。

みょうかというので、私が賛成したら早速彼が始めた。

先づ、左手のこぶしから親指を一本立てて、これがあるかという身振りをしたら「ウン」とはつきりうなづいた。それで今度は、子供はあるかと尋ねるつもりで、そのこぶしを小指を立てた。娘が彼女怒気満面、ノーノーと手まで大きく横に振りだした音程く室外に飛び出した。驚いたのは我々二人、どうして怒ったのかさっぱり判らない。夫があればそれでは子供はあるかと聞くのかもしれない。礼儀でもあらうというものは……それが外人特有の大げさな身振りでノーノーとやられているのは合点かぬばかりか、怒らせた事に対する当方の気持もおさまらぬので、あわてて、通訳氏を見つけて早速彼女の真意をただして貰った。何と此の小指は、夫に特別の(彼女以外)女があるか……と聞いた意味に……の御氣難斜めと判って、いくらかホッとしたが、なるほど考えてみると日本でもこの意味に使われる小指の事を思い、いたって、我々の考え方の浅さと、男女間のしづきが世界は「一つ」と感じた次第。

質問の意味が判ったら彼女早速気難を直して、子供は、彼女の肩の高さと、もの高さ、ひざの高さをだんに示し、指を三本立てて、ニコリ笑った。然し男が女がと大きく段になったが、これを示す身振り方法思い出せなかったので、残念乍らこれは不明に終った。